

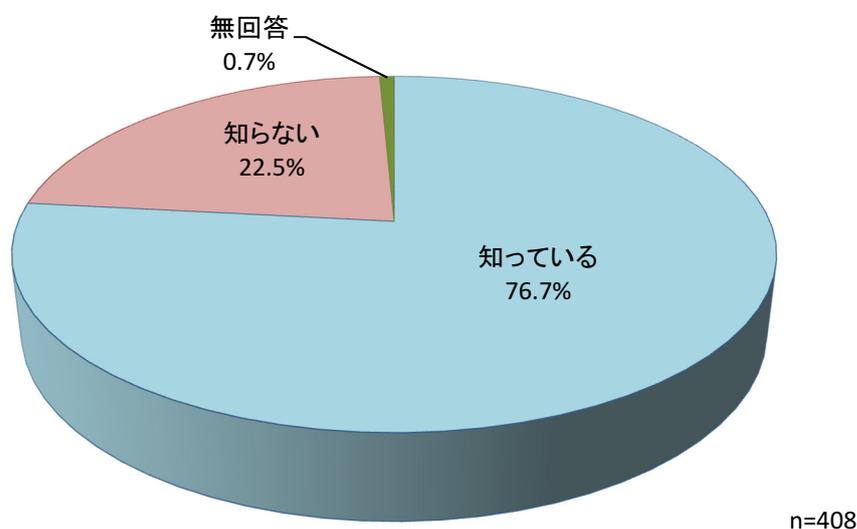
8. いちご一会とちぎ国体・いちご一会とちぎ大会について

(1) 栃木県で国体が開催されることの認知度

◇ 「知っている」が8割弱

問3 4	あなたは、栃木県で国体が開催されることを知っていますか。	(○は1つ)
		n=408
1	知っている	76.7%
2	知らない	22.5%
3	(無回答)	0.7%

<図IV-8-1>全体



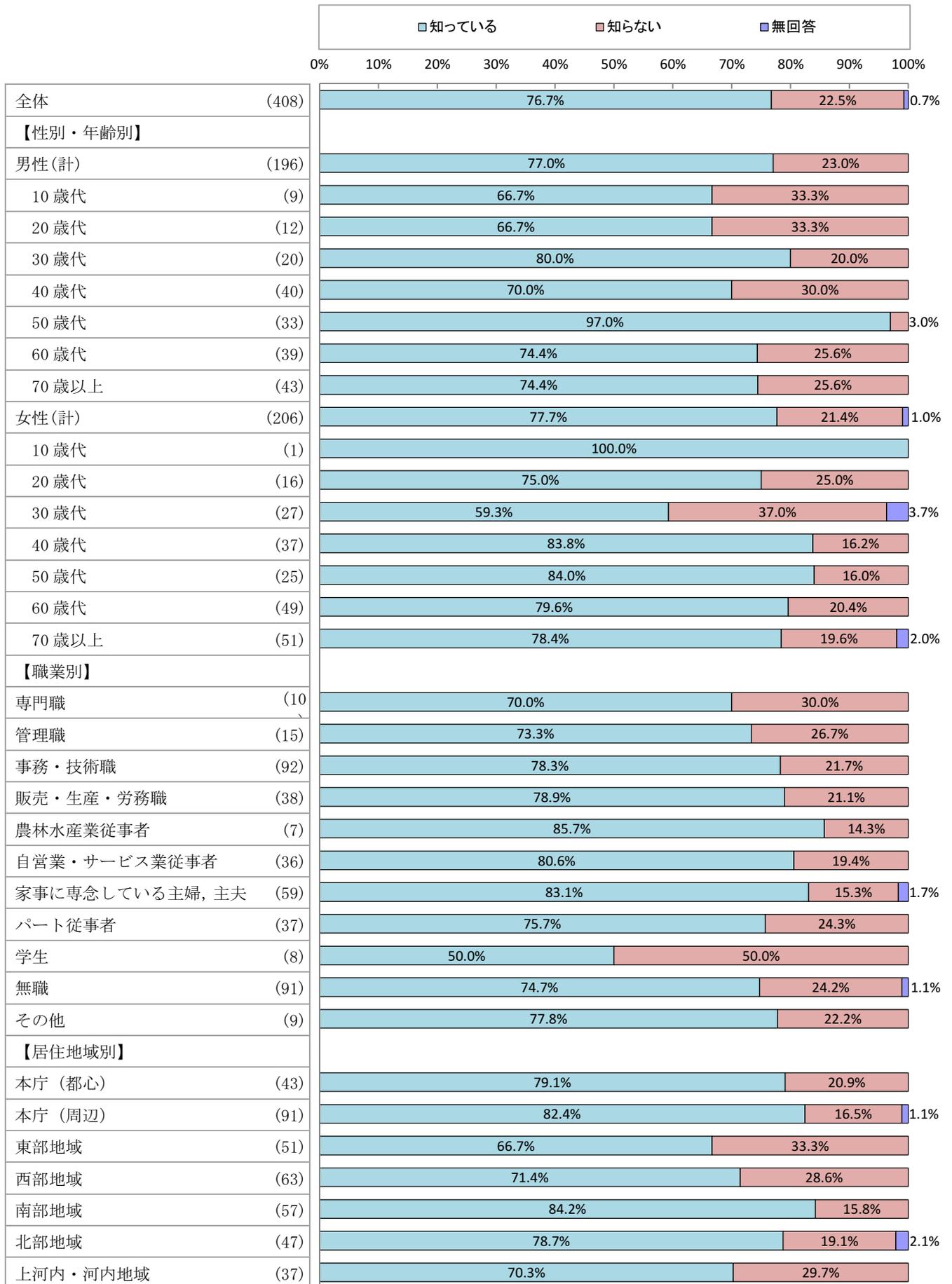
栃木県で国体が開催されることを知っているかについては、「知っている」が76.7%で、一方、「知らない」は22.5%であった。(図IV-8-1)

性別・年齢別でみると、「知っている」は<女性/10歳以上>が100.0%で最も高く、次いで<男性/50歳代>が97.0%であった。一方、「知らない」は<女性/30歳代>が37.0%で最も高く、次いで<男性/10歳代><男性/20歳代>が33.3%であった。(図IV-8-2)

職業別でみると、「知っている」は<農林水産業従事者>が85.7%で最も高く、次いで<家事に専念している主婦、主夫>が83.1%であった。一方、「知らない」は<学生>が50.0%で最も高く、次いで<専門職>が30.0%であった。(図IV-8-2)

居住地域別でみると、「知っている」は<南部地域>が84.2%で最も高く、次いで<本庁(周辺)>が82.4%であった。一方、「知らない」は<東部地域>が33.3%で最も高く、次いで<上河内・河内地域>が29.7%であった。(図IV-8-2)

<図IV-8-2>性別・年齢別／職業別／居住地域別

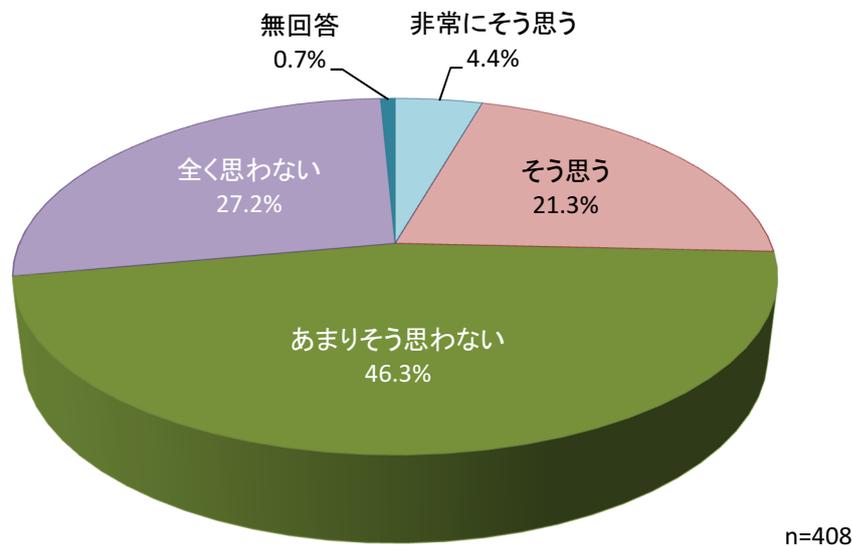


(2) ボランティア活動で、とちぎ国体に参加したいか

◇ 「非常にそう思う」「そう思う」を合わせた【そう思う(計)】が2割半ば

問35	あなたは、ボランティア活動(花いっぱい運動・環境美化活動・競技運営の補助など)で、とちぎ国体に参加したいと思いますか。	(○は1つ)	n=408
1	非常にそう思う		4.4%
2	そう思う		21.3%
3	あまりそう思わない		46.3%
4	全く思わない		27.2%
	(無回答)		0.7%

<図IV-8-3>全体



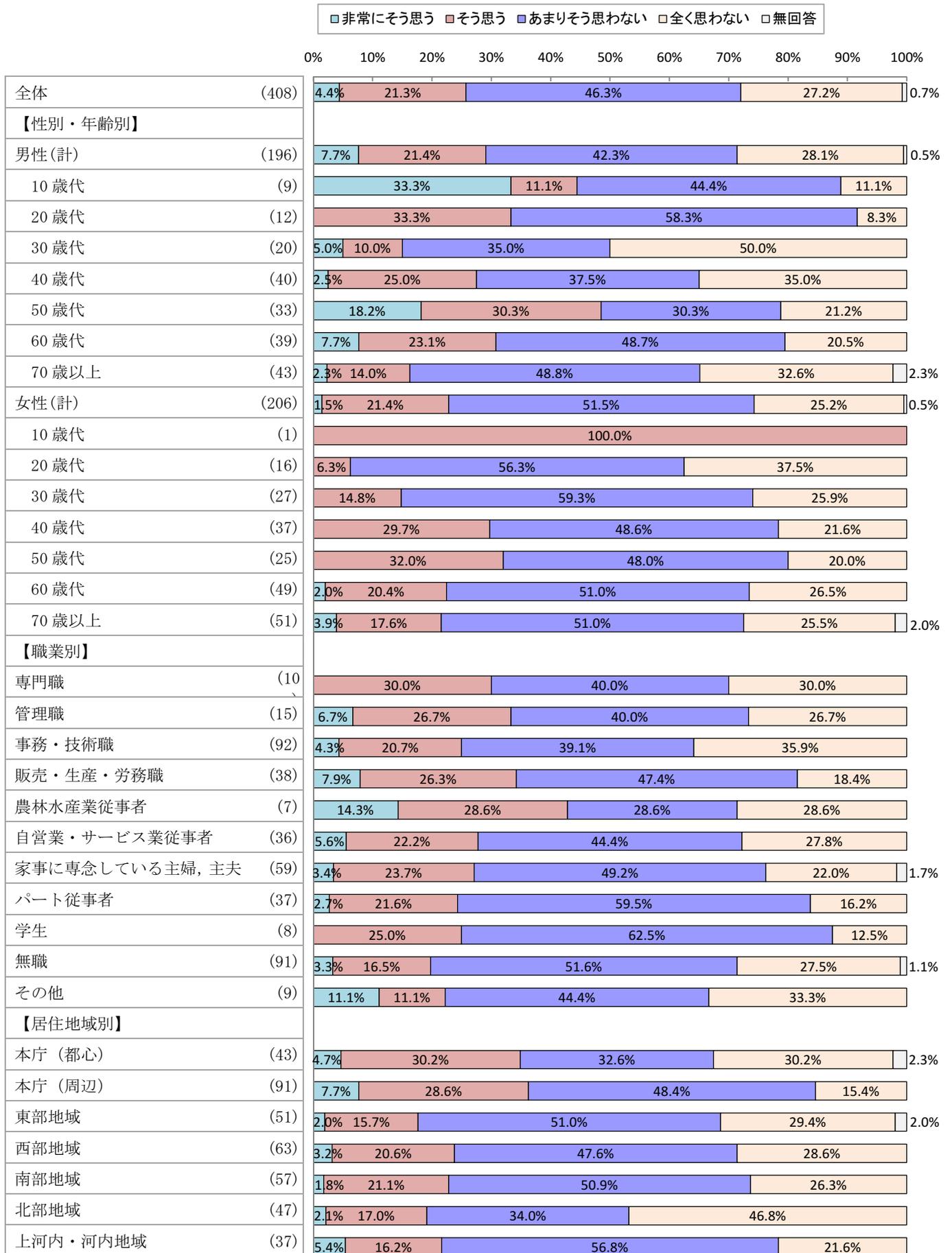
ボランティア活動で、とちぎ国体に参加したいかについては、「非常にそう思う」が4.4%、「そう思う」が21.3%で、これらを合わせた【そう思う(計)】が25.7%であった。一方、「あまりそう思わない」46.3%、「全く思わない」27.2%で、これらを合わせた【そう思わない(計)】は73.5%であった。(図IV-8-3)

性別・年齢別でみると、【そう思う(計)】は<女性/10歳代>が100.0%で最も高く、次いで<男性/50歳以上>が48.5%であった。一方、【そう思わない(計)】は<女性/20歳代>が93.8%で最も高く、次いで<女性/30歳代>が85.2%であった。(図IV-8-4)

職業別でみると、【そう思う(計)】は<農林水産業従事者>が42.9%で最も高く、次いで<販売・生産・労務職>が34.2%であった。一方、【そう思わない(計)】は<無職>が79.1%で最も高く、次いで<その他>が77.7%、<パート従事者>が75.7%と続いている。(図IV-8-4)

居住地域別でみると、【そう思う(計)】は<本庁(周辺)>が36.3%で最も高く、次いで<本庁(都心)>が34.9%であった。一方、【そう思わない(計)】は<北部地域>が80.8%で最も高く、次いで<東部地域>が80.4%であった。(図IV-8-4)

<図IV-8-4>性別・年齢別／職業別／居住地域別

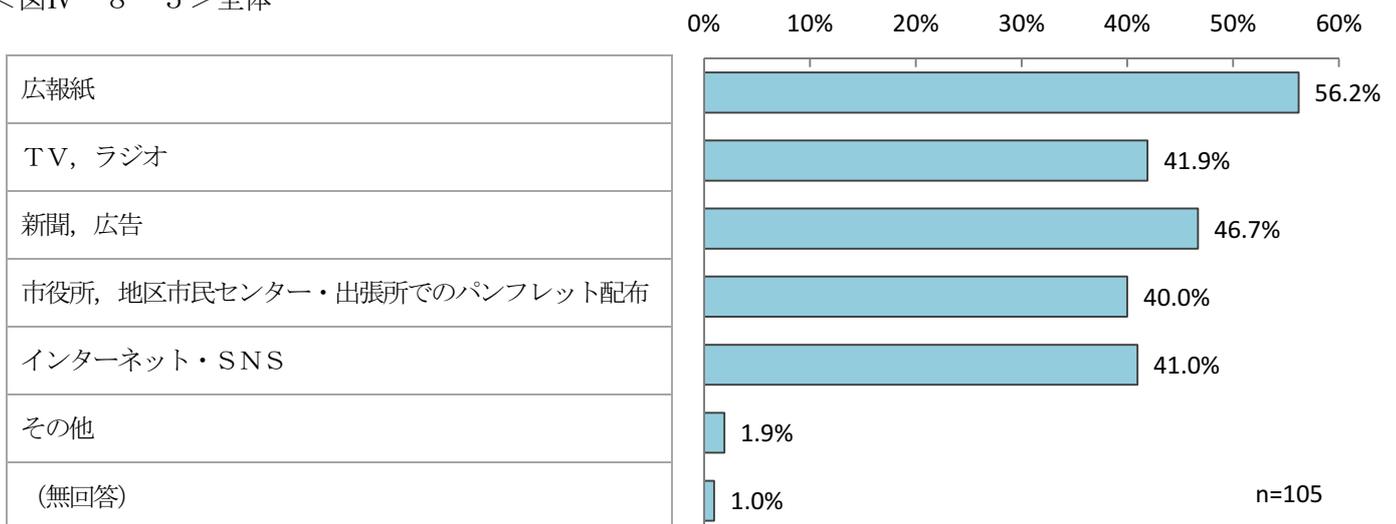


(3) ボランティア情報の入手方法

◇ 「広報紙」が5割半ば

問36	問35で「①非常にそう思う」「②そう思う」と答えた方にお聞きします。 あなたがボランティア情報を得るには、どのような方法が情報を得やすいですか。 (〇はいくつでも)	n=105
1	広報紙	56.2%
2	TV, ラジオ	41.9%
3	新聞, 広告	46.7%
4	市役所, 地区市民センター・出張所でのパンフレット配布	40.0%
5	インターネット・SNS	41.0%
6	その他	1.9%
	(無回答)	1.0%

<図IV-8-5>全体



ボランティア情報の入手方法については、「広報紙」が56.2%で最も多く、次いで「新聞・広告」が46.7%、「TV, ラジオ」が41.9%と続いている。(図IV-8-5)

性別・年齢別でみると、「広報紙」は<女性/10歳代><女性/20歳代>が100.0%で最も高く、次いで<女性/40歳代>が72.7%であった。「新聞・広告」は<女性/10歳代>が100.0%で最も高く、次いで<女性/50歳代>が75.0%であった。(図IV-8-6)

職業別でみると、最も回答者数の多かった<事務・技術職>は「インターネット・SNS」が60.9%、「広報紙」が56.5%であった。(図IV-8-6)

居住地域別でみると、最も回答者数の多かった<本庁(周辺)>は「新聞・広告」が51.5%、「広報紙」が48.5%であった。(図IV-8-6)

<図IV-8-6>性別・年齢別／職業別／居住地域別

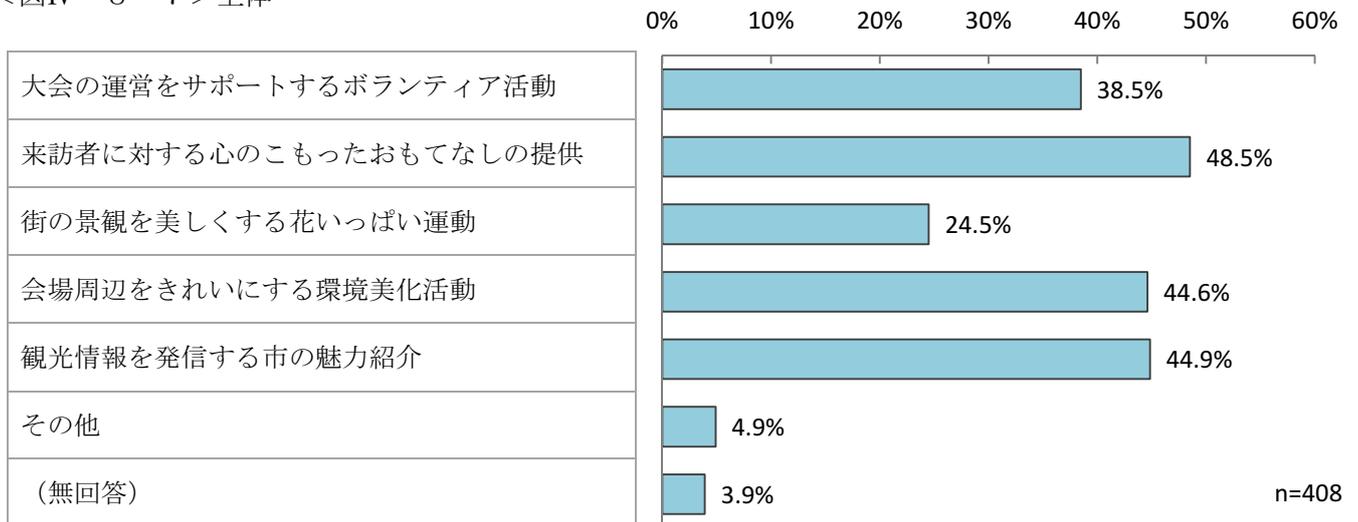


(4) 国体を盛り上げるために重要だと思うこと

◇ 「来訪者に対する心のこもったおもてなしの提供」が約5割

問37	あなたは、多くの大会参加者・観覧者が来訪する国体を盛り上げるために、何が重要だと思いますか。 (〇はいくつでも)	n=408
1	大会の運営をサポートするボランティア活動	38.5%
2	来訪者に対する心のこもったおもてなしの提供	48.5%
3	街の景観を美しくする花いっぱい運動	24.5%
4	会場周辺をきれいにする環境美化活動	44.6%
5	観光情報を発信する市の魅力紹介	44.9%
6	その他	4.9%
	(無回答)	3.9%

<図IV-8-7>全体



国体を盛り上げるために重要だと思うことについては、「来訪者に対する心のこもったおもてなしの提供」が48.5%で最も高く、次いで「観光情報を発信する市の魅力紹介」が44.9%、「会場周辺をきれいにする環境美化活動」が44.6%と続いている。(図IV-8-7)

性別・年齢別でみると、「来訪者に対する心のこもったおもてなしの提供」は<女性/10歳代>が100.0%で最も高く、次いで<男性/10歳代>が77.8%であった。「観光情報を発信する市の魅力紹介」は<女性/20歳代>が62.5%で最も高く、次いで<女性/50歳代>が60.0%であった。(図IV-8-8)

職業別でみると、「来訪者に対する心のこもったおもてなしの提供」は<農林水産業従事者>が85.7%で最も高く、次いで<学生>が62.5%であった。「観光情報を発信する市の魅力紹介」は<専門職>が70.0%で最も高く、次いで<管理職>が66.7%であった。(図IV-8-8)

居住地域別でみると、「来訪者に対する心のこもったおもてなしの提供」は<西部地域>が57.1%で最も高く、次いで<南部地域>が49.1%であった。「観光情報を発信する市の魅力紹介」は<本庁(周辺)>が52.7%で最も高く、次いで<東部地域>が49.0%であった。(図IV-8-8)

<図IV-8-8>性別・年齢別／職業別／居住地域別

